



翔

2008 June No.192 百万石蝶談会

石川県に於けるアサギマダラの北上移動調査2007

松 井 正 人



図1. 珠洲市川浦海岸（2007年6月9日撮影）

日本列島を北上移動するアサギマダラを、海岸のスナビキソウ周辺で観察を始めて4年が経過した。観察場所や観察時期、観察時間などの情報が蓄積され、観察者も増加し、2007年は前年をしのぐ観察数が期待されたが前年の半数以下となり、特に羽咋郡志賀町以南の観察数は激減した。

■調査概要

調査は、2007年5月12日から6月30日にかけて、図2に示す加賀市から珠洲市にかけての海岸で行い、鳳珠郡能登町、同郡穴水町、七尾市の海岸では行わなかった。調査対象となる海岸線は長いので、各地に調査協力者を求め、それぞれが身近な海岸で、スナビキソウに飛来するアサギマダラを観察し、日時の記録とマーキングを行った。珠洲市では、2007年から新たに「アサギマダラ調査隊」が加わった。

アサギマダラは、2007年5月19日から6月20日にかけて30箇所で539頭が観察され、♀の観察数は6頭だった。マーキングは487頭に行い、再捕獲は28頭観察された。

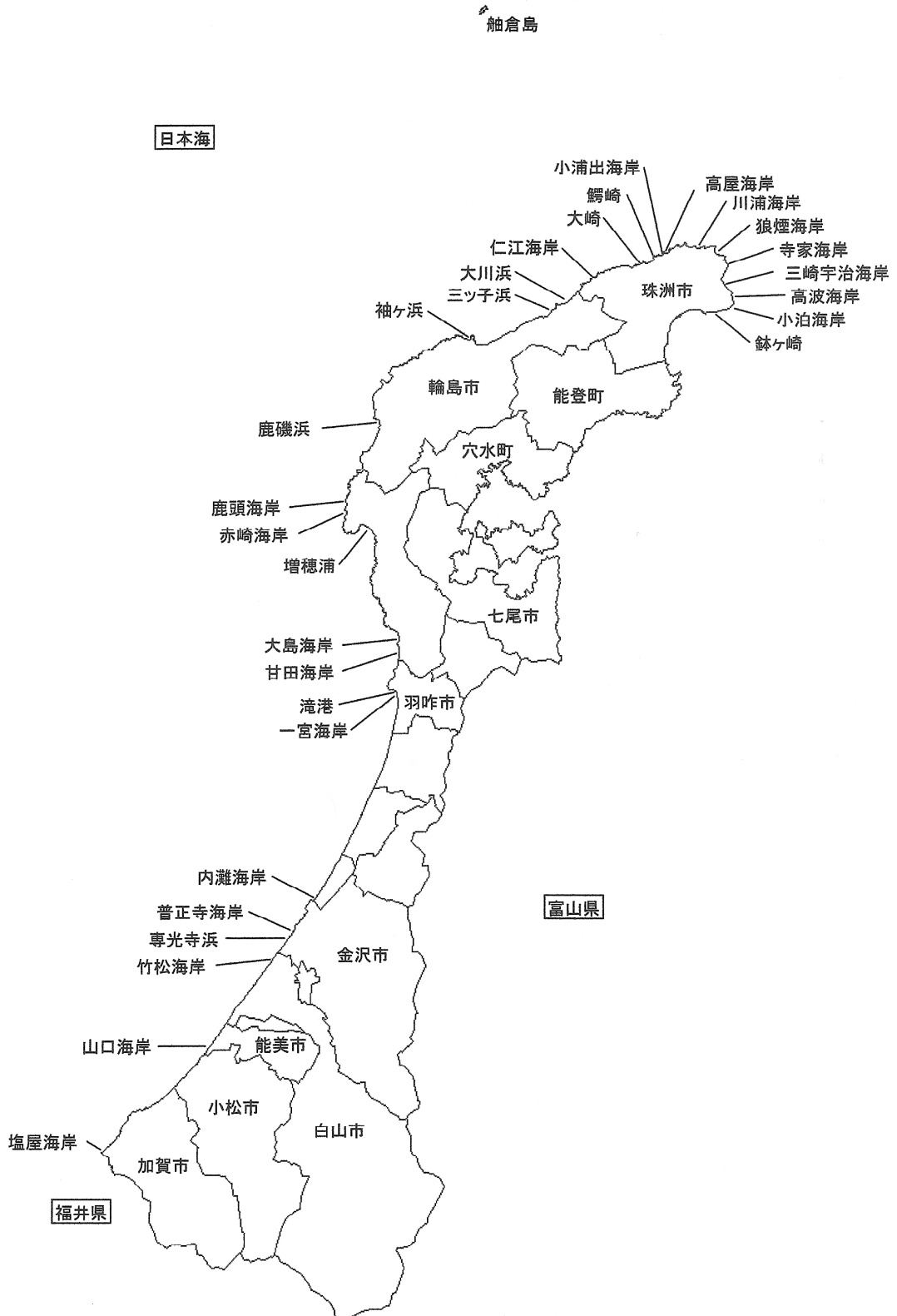


図2. アサギマダラの観察場所（2007年）

■総観察数

2007年の総観察数は539頭で、2006年の1231頭に比べて44%に落ち込んだ。各地域ともに減少しているが、珠洲市の減少率が77%と最も小さかった。これは、2007年から珠洲市で調査を始めた赤石大輔氏を中心とした「アサギマダラ調査隊」による影響が大きいと思われる。

表1. アサギマダラの観察数

	2004年	2005年	2006年	2007年
珠洲市	—	38	447	345
輪島市	109	87	344	114
志賀町	134	29	243	35
羽咋市	40	10	23	11
それより南	36	89	174	34
合計	319	253	1231	539

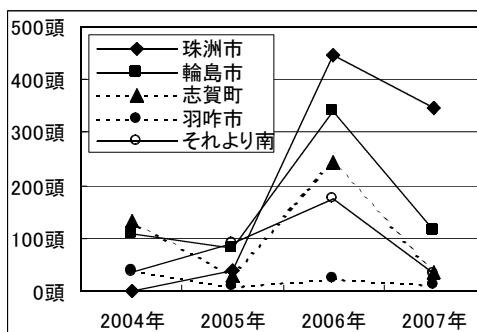


図3. アサギマダラの観察数

■観察時期

2007年は、5月下旬後期から6月中旬後期（5月26日～6月20日）にかけて、観察総数の99%が観察され、観察ピークは、6月上旬後期の274頭だった。この観察期間内に2005年は92%（232頭/253頭）、2006年は92%（1135頭/1231頭）と全体の90%を越す観察がなされている。2007年の観察数は5月下旬後期から徐々に増加し、6月上旬後期にピークに達し、その後は、徐々に減少したが、2006年は5月下旬後期に424頭のピークがあり、その後は徐々に減少している。

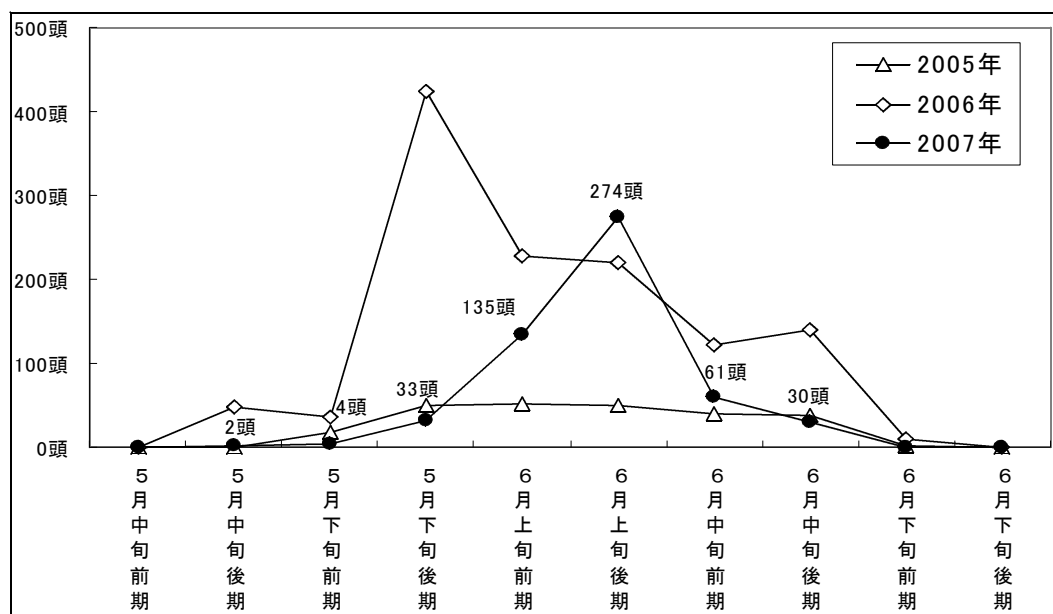


図4. 時期別観察数

海岸別観察数

2007年に観察数が多かった調査期間中の上位3海岸は、珠洲市狼煙海岸、輪島市袖ヶ浜、珠洲市川浦海岸で、日別の上位3海岸は、珠洲市狼煙海岸、珠洲市川浦海岸、珠洲市高屋海岸だった。2006年のシーズン中の上位3海岸は、輪島市袖ヶ浜、珠洲市狼煙海岸、珠洲市大崎で、日別の上位3海岸は、珠洲市狼煙海岸、輪島市袖ヶ浜、志賀町増穂浦だった。2006年と2007年の上位海岸の中で輪島市袖ヶ浜と志賀町増穂浦以外は、全て能登半島先端部の海岸で有り、能登半島先端部は北上するアサギマダラが多数観察される観察適地のようと思われる。

表2. 調査期間中の上位3海岸の観察数

2007年	珠洲市狼煙海岸	115頭
	輪島市袖ヶ浜	99頭
	珠洲市川浦海岸	75頭
2006年	輪島市袖ヶ浜	278頭
	珠洲市狼煙海岸	91頭
	珠洲市大崎	81頭

表3. 日別上位3海岸の観察数

2007年	珠洲市狼煙海岸	2007年6月6日	66頭
	珠洲市川浦海岸	2007年6月6日	46頭
	珠洲市高屋海岸	2007年6月6日	26頭
2006年	珠洲市狼煙海岸	2006年5月31日	73頭
	輪島市袖ヶ浜	2006年6月10日	69頭
	志賀町増穂浦	2006年5月20日	39頭

表4. 日別海岸別観察数(2007年)

観 察 日	観 察 計	珠 洲 市					珠 洲 市					輪 島 市					志 賀 町					志 賀 町					金 沢 市					加 賀 市				
		小 鉢 ヶ 崎	高 波 海 岸	宇 治 海 岸	三 崎 海 岸	寺 家 海 岸	市 川 浦 海 岸	市 高 屋 海 岸	市 小 浦 出 海 岸	市 大 崎	市 江 海 岸	市 仁 市 島 海 岸	市 大 川 浜	市 三 ツ 子 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜	市 鹿 磯 浜						
	539	1	4	2	3	30	115	75	61	21	5	24	4	3	7	3	99	2	3	4	3	16	9	3	8	2	1	6	5	19	1					
5/19	2																														2					
5/21	2																														2					
5/24	2																2																			
5/26	3																1	2																		
5/27	5					1															2	1		1												
5/28	1																1																			
5/29	2																1														1					
5/30	14														3		10										1									
5/31	8																8																			
6/2	78				2	3	7	5	20	14	2	12	4				1							2	3					2	1					
6/3	17														5	2	3						2	2		1				1						
6/4	13														2		1																			
6/5	27					3	5	4	1								8											5		1						
6/6	182			1	1	9	66	46	26	5	2	6					19													1						
6/7	10					1											9																			
6/8	11																9																			
6/9	40				1	4	22	4	3	1	1	3																		1						
6/10	31					2	1	2	5			3					2		3	4	2	3		1	1					2						
6/11	6	1															2													3						
6/12	9			4													3													2						
6/13	37						9	9								1	10											1								
6/14	9																9																			
6/16	18																	1				9	6		2											
6/17	8						5		2	1																										
6/20	4																													4						

■観察時間

2007年の調査で観察時間は、520頭で記録され、最も早い時間は5時37分、最も遅い時間は19時10分だった。5時台から10時台までの6時間で全体の83%、6時台から9時台の4時間で全体の72%が観察されている。2005年の調査では、5時-10時台には78%、6時-9時台には67%、2006年の調査では、5時-10時台には67%、6時-9時台には57%、が観察されている。

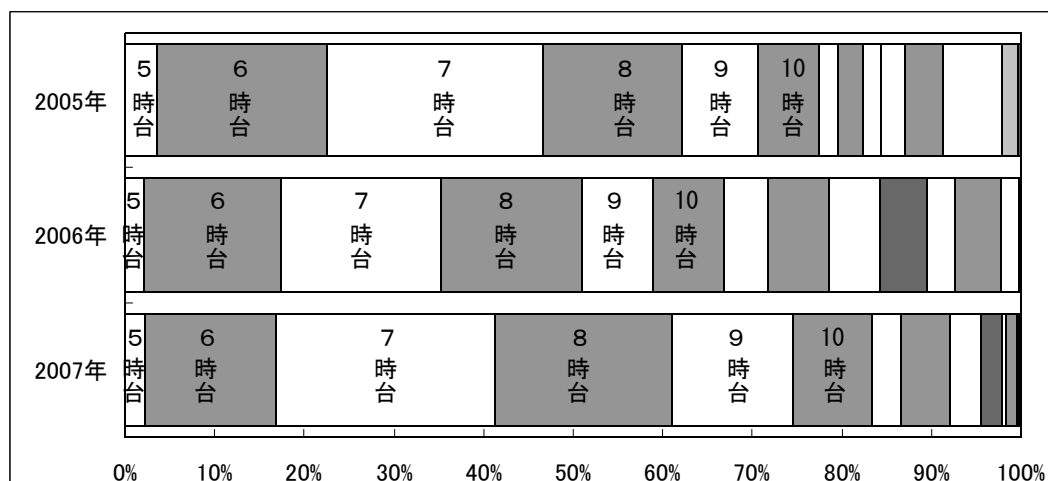


図5. 時間別観察割合

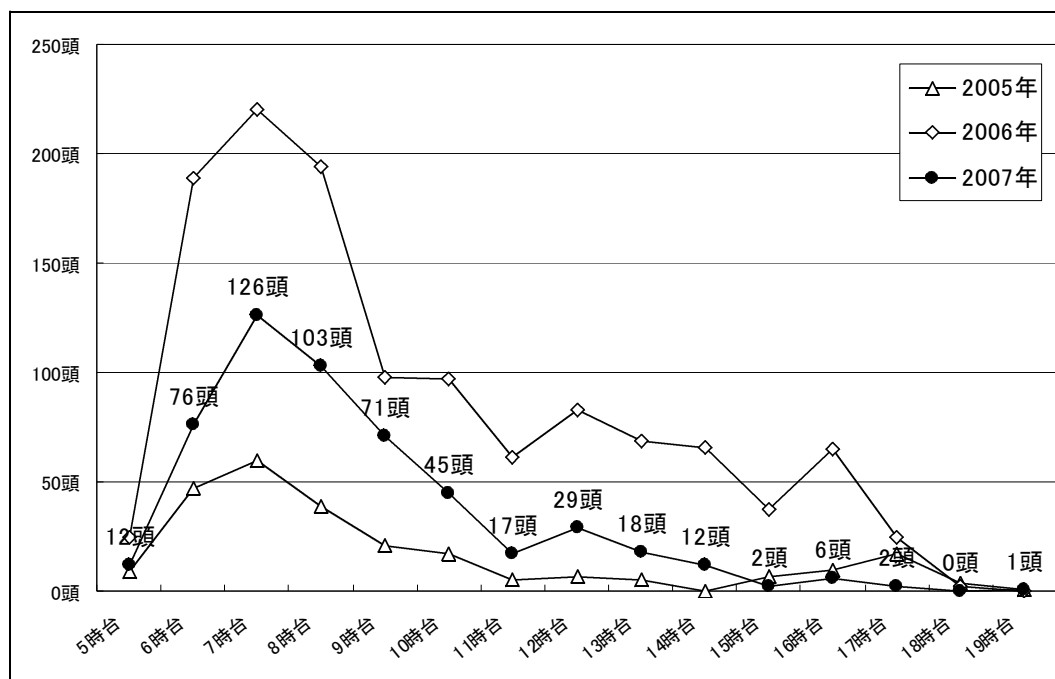


図6. 時間別観察数

■マーキングと再捕獲

2007年のマーキングは487頭に行われ、捕獲時に既にマークが付いていた再捕獲は28例あったが、能登半島以外のマークが付いたものは無く、能登半島内で移動が観察されたものが5頭、同一場所で異なる日に再捕獲されたものが23頭だった。同一場所で再捕獲されたもののうち、翌日の再捕獲は20頭、2日後の再捕獲は3頭だった。

表5. 能登半島内で観察されたアサギマダラの移動

個体	放蝶日	放蝶場所	放蝶者	再捕獲日	捕獲場所	再捕獲者	距離	日数
♂	2007年6月2日	珠洲市高屋海岸	松井正人	→ 6月6日	珠洲市川浦海岸	松井正人	10km	4日
♂	2007年6月2日	珠洲市大崎	松井正人	→ 6月6日	輪島市袖ヶ浜	日吉芳朗	30km	4日
♂	2007年6月5日	輪島市袖ヶ浜	日吉芳朗	→ 6月7日	珠洲市寺家海岸	赤石大輔	40km	2日
♂	2007年6月9日	珠洲市狼煙海岸	大脇 淳	→ 6月10日	珠洲市高屋海岸	松井正人	7km	1日
♂	2007年6月13日	珠洲市狼煙海岸	赤石大輔	→ 6月14日	輪島市袖ヶ浜	日吉芳朗	40km	1日

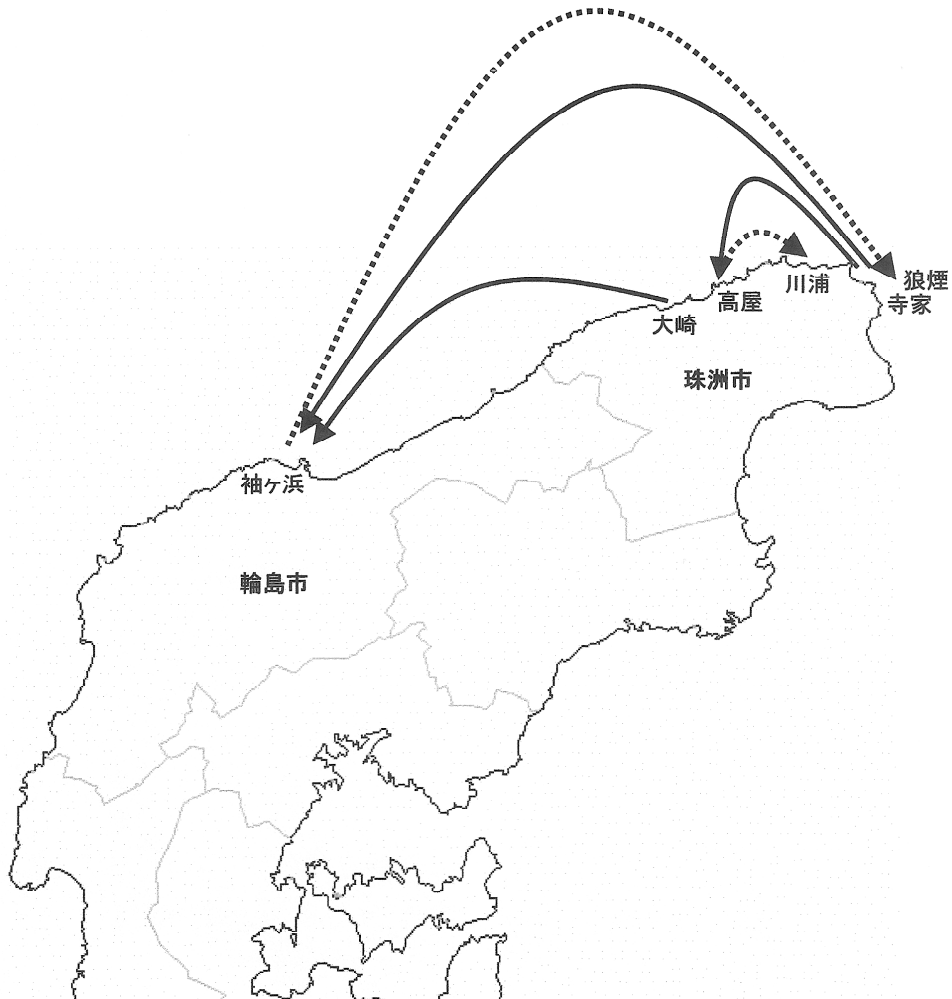


図7. 移動が観察された放蝶地と再捕獲地（2007年）

■♀の観察

2007年は、海岸では稀に観察されているアサギマダラの♀が、6頭観察された。3頭はスナビキソウで吸蜜、2頭はスナビキソウの周囲を飛翔、1頭はスナビキソウに止まっていた。2005年の調査では1頭（観察数の0.4%）、2006年の調査では3頭（観察数の0.2%）が観察されているに過ぎず、今回の6頭（観察数の1.1%）の観察は、大変興味深い。



図8. 6月2日8時54分 珠洲市小浦出海岸 既交尾の♀

表6. 海岸で観察されたアサギマダラの♀

観察日時	気温	観察場所	個体	観察者	観察内容
2007年6月2日8時30分	21度	珠洲市小浦出海岸	1♀既交尾	松井正人	スナビキソウ吸蜜
2007年6月2日8時54分	22度	珠洲市小浦出海岸	1♀既交尾	松井正人	飛翔
2007年6月6日7時02分	22度	珠洲市鰐崎	1♀未交尾	松井正人	スナビキソウ吸蜜
2007年6月6日7時10分	22度	珠洲市小浦出海岸	1♀既交尾	松井正人	飛翔
2007年6月6日7時50分	22度	珠洲市高屋海岸	1♀既交尾	松井正人	スナビキソウに止まる
2007年6月6日8時45分	24度	輪島市袖ヶ浜	1♀既交尾	日吉芳朗	スナビキソウ吸蜜

■謝 辞

今回の調査を実施するにあたり、輪島市の日吉芳朗・南賀子ご夫妻、能美市の林 宏初氏には、毎日のように調査していただき、有意義な情報を多く教えていただいた。珠洲市の赤石大輔氏には、珠洲市の調査で大変お世話になり、アサギマダラ調査隊の観察記録をまとめていただいた。また、アサギマダラ調査隊(珠洲市)、浅地哲也(金沢市)、平松新一(白山市)、平松夕衣(白山市)、日吉宏朗(輪島市)、日吉弥生(輪島市)、堀 千恵子(宝達志水町)、堀 孝治(宝達志水町)、細沼 宏(内灘町)、川端 勇(能美市)、南出 洋(加賀市)、中村明男(白山市)、西方友美(金沢市)、長田 真(金沢市)、尾張勝也(金沢市)、塩島保二(金沢市)、橘 英子(宝達志水町)、竹谷宏二(白山市)、寺内芳江(内灘町)、床坊 紘(珠洲市)、上野登起男(珠洲市)、宇野弘子(愛知県岡崎市)、山前美智子(小松市)の方々には、調査にご協力いただき観察記録を教えていただいた。上掲各諸氏には、心からお礼申し上げる。

■参考文献

- 松井正人 (2006) 石川県に於けるアサギマダラの北上移動調査2005. 翔(179):1-6.
 松井正人 (2007) 石川県に於けるアサギマダラの北上移動調査2006. 翔(186):4-10.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

特別寄稿《石川県珠洲市で8月にアサギマダラを観察》

赤 石 大 輔

石川県珠洲市で8月にアサギマダラを観察しているので報告する。

2007年8月5日	珠洲市山伏山（標高180m）	5 頭目撃	垣内信一
2007年8月9日	珠洲市小泊（標高 5 m）	1 頭目撃	赤石大輔
2007年8月10日	珠洲市山伏山（標高180m）	5 ♂ 2 頭目撃	赤石大輔
2007年8月11日	珠洲市山伏山（標高180m）	2 ♂ 1 ♀	端野美月
2007年8月12日	珠洲市山伏山（標高180m）	1 ♂ 1 ♀	端野美月
2007年8月22日	珠洲市上戸寺社（標高 5 m）	1 頭目撃	赤石大輔

アサギマダラは、渡りをするチョウとして知られ、珠洲市では初夏には海岸で、真夏には珠洲市で最も標高が高い宝立山（標高468m）で観察されているが、標高が低い場所での真夏の観察はこれまでなく大変興味深い。また、2007年8月10日に観察した5 ♂ 2 頭の内の1 ♂には、「KON 83 BV 8/4」のマークが有り、8月4日に滋賀県大津市びわ湖バレイで放蝶された個体だった。

末筆ではあるが、筆者に報告を委ねられたアサギマダラ調査隊の垣内信一さん、端野美月さんに、お礼申し上げる。

《〒927-1462 あかいし だいすけ 珠洲市三崎町小泊33-7》

金沢市犀川ダムでクジャクチョウを採集

細 沼 宏

筆者は、金沢市犀川ダム湖畔でクジャクチョウを採集したので報告する。

2008年 5月 3日 金沢市犀川ダム 1 頭採集 細沼 宏

採集場所は、ダム湖畔の歩道をしばらく進んだ石碑のある所で、崩れた石の上に止まっていた。越冬のため本来の生息地から低地に下りてきた個体と思われ、低地での観察には、金沢市板ヶ谷や能美市鍋谷（旧辰口町）などが知られている。

《 参考文献 》

松井正人（1993）石川県のタテハチョウ5．翔（101）：3－6．

《ほそぬま ひろし 〒920-0276 内灘町緑台2-122》

会員の動き・しゃばの動き

■春はギフチョウが一番

ギフチョウに惚れ込んだ輪島の日吉氏、シーズンになると各地で目撃されている。今年は加賀に何度足を運んだのだろうか。

■4月20日RDB会議

会議も大詰めとなり、各種のメッシュマップや文章を検討。新RDBは、2009年に公表される予定になっているが、今回は印刷物はなく、ウェブ版だけの予定。

■シラキトビナナフシが新種記載

とっくに記載されていると思っていたシラキトビナナが、このほど市川顕彦氏と岡田正哉氏によって記載された。ホロタイプは長野県産で、パラタイプには石川県産も含まれている。

■進むコムラサキのDNA分析

昨年集めた金沢から珠洲にかけてのサンプルは分析が終了し、興味深い結果が出た。今年は、小松、富山、福井、韓国など、新たなサンプルを集める。

■魚露目レンズ

まるで虫の世界に入ってしまったかのよう
に虫が大きく見え、細かな所まではっきり
写る虫の眼レンズに匹敵する魚露目レンズが、
静かに浸透してきた。扱いにくいレンズでも、
試し撮りや画像の加工が手軽なデジカメなら
問題ない。

■興味がそそられる虫の三大条件

キラキラ系なら良いと思ってた井村会長には、
良い虫三条件があった。第一条件は「稀」、
第二条件は「綺麗」か「奇妙」、第三条件は
大きければ大きいほど良いとか。

■ルートセンサス

浅地氏、卯辰山で毎日同じ道をたどってハルゼミの羽化殻を集めている。4月16日から
見つかり始め、4月30日には一挙にそれまでの
10倍に増えた。原因はいったい何なのか。詳細な
報告を待ちたい。

■ガランビルリマダラ

日吉芳朗氏、昨年10月14日に石垣島嵩田林道で1♂を
ゲットし、そろそろ中央紙に掲載される予定。

■金沢でもオオミスジが見つかるか

かろうじて生息しているかのようなオオミスジ、
白山市の河原山と木滑で意外と簡単に幼虫が発見
され、6月の成虫調査が楽しみになってきた。ポツン
とあるウメの木の周りを飛び回るので調査は簡単だ。

■旧尾口村の鍾乳洞

洞くつトラップに意欲を見せる大宮君、まだまだ
洞くつから色気が抜けない井村会長、今のところ
は何が潜むか思いを巡らしているが、やるとなれば
行動は速い。

■台湾から能登に飛んできた

台湾からのチャーター便が能登空港に飛来して
いる。去年は54便だったが、今年は毎日飛んで
いる。台湾から能登、アサギマダラも飛来しな
いだろうか。

■カラハナソウはシータテハの食草か

全国では立派な食草だが、県内での観察例は
無い。石動山や珠洲市でオヒョウを食べている
シータテハが観察されているが、同じ場所に
カラハナソウもある。テント状の巣を作るので、
7月に探してみたい。

■ 蝶談会は今年で30年

地元の蝶を愛する人々に呼びかけ、初めての会合を持ったのは、1978年6月5日。呼びかけ人は嵯峨井氏で、石川県職員会館に11人が集まった。これが、蝶談会のスタートで、百万石蝶談会の名前が決まったのは、その年の秋だった。モットーは、活動記録の速報で、現在も引き継がれている。

■ 例会の記録 ■

4月10日（木）浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

春の虫探しについて、松井氏が報告。ギフチョウの初飛は3月22日で、昨年より1日遅れで歴代12位の記録。最近の観察記録が無かったオオミスジは、河原山で越冬幼虫が見つかった。数が少ないオオシモフリスズメは、ギフチョウシーズンに灯火に飛来する。ハルゼミの羽化はこれから始まり、卯辰山公園は抜殻を見つけ易い。

その他の話題は、小浜のキイロミヤマトンボ、オオシモフリスズメは角間キャンパスに多い、洞くつトラップにはイムナダが1頭、北海道ツアーは3人がお勧め、ベニ

ボシを探しに行きたいが、などなど。

参加は、井村、大宮、浅野、細沼、松井、浅地、勝海の7人。

■ 例会の記録 ■

5月8日（木）浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

卯辰山で実施中のハルゼミ抜殻調査に付いて、浅地氏が報告。4月13日から調査を始め、16日になって2♂の抜殻を発見。♀は1週間ほど遅れて見つかり始めた。羽化に適した場所が有るのか、抜殻は木によって、だいたい同じような場所に付いているのか、日照や気温、風通し等が影響しているのかも知れない。

その他の話題は、アサギマダラは今月末から飛来、犀川ダムでクジャクチョウ、角間キャンパスでオオシモフリスズメ、ヒラサナエの生息地はピンポイント、シラキトビナナの孵化率は5%ほど、虫の眼レンズか魚露目8号、などなど。

参加は、中村（初参加）、井村、大宮、長田、小幡、浅野、松井、細沼、浅地の9人。

■ ■ 表紙デザイン：小幡英典 ■ ■

目 次

松井正人：石川県に於けるアサギマダラの北上移動調査2007	1
赤石大輔：特別寄稿《石川県珠洲市で8月にアサギマダラを観察》	8
細沼 宏：金沢市犀川ダムでクジャクチョウを採集	8
編 集 部：会員の動き・しゃばの動き	9

翔

192号

Tobu 2008年6月10日発行

百万石蝶談会

金沢市大場町東871-15 松井方

<http://homepage3.nifty.com/100man/>

☎920-3121

☎076-258-2727

郵便振替

00750-8-562

印刷

小西紙店印刷所

